

令和4年度見附市国民健康保険事業特別会計決算

資料1

(単位:円)

説明用	歳入	決 算		決 算		
		令 和 3 年 度		令 和 4 年 度		
		決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比	増加率 減少率
1	国 保 税	618,326,443	99.4%	577,343,233	93.4%	-6.6%
2	一 般 分	618,247,796	99.3%	576,808,528	93.3%	-6.7%
3	医療分現年分	391,602,054	99.8%	365,730,046	93.4%	-6.6%
4	支援分現年分	159,774,621	100.2%	149,320,583	93.5%	-6.5%
5	介護分現年分	51,476,764	97.6%	48,219,721	93.7%	-6.3%
6	医療分滞繰分	9,634,580	85.1%	8,209,646	85.2%	-14.8%
7	支援分滞繰分	3,884,903	87.0%	3,359,415	86.5%	-13.5%
8	介護分滞繰分	1,874,874	94.1%	1,969,117	105.0%	5.0%
9	退 職 者 分	78,647	315.6%	534,705	679.9%	579.9%
10	医療分現年分	0	-	0	-	-
11	支援分現年分	0	-	0	-	-
12	介護分現年分	0	-	0	-	-
13	医療分滞繰分	46,603	305.4%	315,349	676.7%	576.7%
14	支援分滞繰分	16,500	259.3%	116,138	703.9%	603.9%
15	介護分滞繰分	15,544	471.7%	103,218	664.0%	564.0%
16	国 庫 支 出 金	1,534,000	13.2%	0	0.0%	-100.0%
17	システム改修費等補助金	0	0.0%	0	-	-
18	災害臨時特例補助金	1,534,000	17.3%	0	0.0%	-100.0%
19	県 支 出 金	2,628,485,054	102.7%	2,534,701,220	96.4%	-3.6%
20	普通交付金	2,577,899,087	103.1%	2,477,308,648	96.1%	-3.9%
21	保険者努力支援	16,825,000	101.3%	20,442,000	121.5%	21.5%
22	特別調整交付金分	6,960,000	50.0%	10,462,000	150.3%	50.3%
23	県繰入2号	11,914,967	96.1%	11,544,572	96.9%	-3.1%
24	特定健康診査等負担金	14,886,000	99.9%	14,944,000	100.4%	0.4%
25	基金繰入金	0	-	③ 0	-	-
26	一般会計繰入金	319,978,933	100.5%	320,147,522	100.1%	0.1%
27	繰 越 金	130,655,172	160.4%	④ 143,770,327	110.0%	10.0%
28	諸収入(手数料も含む)	11,937,749	178.1%	8,140,945	68.2%	-31.8%
29	歳入合計 A	3,710,917,351	103.1%	3,584,103,247	96.6%	-3.4%

(単位:円)

説明用

歳 出	決 算		決 算		
	令 和 3 年 度		令 和 4 年 度		
	決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比	増加率 減少率
30 総 務 費	78,213,939	100.0%	76,124,637	97.3%	-2.7%
31 保 険 給 付 費	2,578,884,735	103.0%	2,478,218,019	96.1%	-3.9%
32 一般療養諸費	2,565,872,131	103.1%	2,466,268,707	96.1%	-3.9%
33 一般被保険者等療養給付費	2,216,687,691	103.2%	2,133,155,486	96.2%	-3.8%
34 一般被保険者等療養費	16,982,237	94.6%	16,166,430	95.2%	-4.8%
35 一般被保険者等高額療養費	331,702,316	102.5%	316,607,523	95.4%	-4.6%
36 一般被保険者高額介護合算療養費	499,887	114.7%	339,268	67.9%	-32.1%
37 退職療養諸費	0	0.0%	31,927	-	-
38 退職被保険者等療養給付費	0	0.0%	31,927	-	-
39 退職被保険者等療養費	0	-	0	-	-
40 退職被保険者等高額療養費	0	-	0	-	-
41 退職被保険者高額介護合算療養費	0	-	0	-	-
42 審査支払手数料	5,680,034	103.3%	5,492,402	96.7%	-3.3%
43 出産育児一時金	3,361,680	61.9%	3,361,680	100.0%	0.0%
44 葬 祭 費	3,950,000	117.9%	2,850,000	72.2%	-27.8%
45 傷病手当金	20,890	74.4%	213,303	1021.1%	921.1%
46 国保事業納付金	797,232,211	95.2%	775,377,319	97.3%	-2.7%
47 保 健 事 業 費	37,380,770	109.6%	37,874,331	101.3%	1.3%
48 特定健康診査等	25,645,664	111.0%	25,966,820	101.3%	1.3%
49 保健事業	11,735,106	106.7%	11,907,511	101.5%	1.5%
50 基金積立金	50,003,021	500030.2%	⑤ 3,000	0.0%	-100.0%
51 諸支出金	25,432,348	163.9%	⑥ 24,921,687	98.0%	-2.0%
52 歳 出 合 計 B	3,567,147,024	102.8%	3,392,518,993	95.1%	-4.9%
53 形式収支 (歳入歳出差引A-B)	143,770,327		① 191,584,254		
54 実質収支	137,423,405		② 186,068,642		
55 単年度経常収支・単年度実質収支	77,827,702		66,164,702		

【各収支の説明】

形式収支：「決算上の歳入」－「決算上の歳出」による収支。次年度会計歳入「繰越金」になる。

実質収支：当年度歳入の交付金等が過大交付であり次年度に返還する金額を差し引いた収支。

①の形式収支から「項番19 県支出金 普通交付金」のうち過大交付分（見込み）5,515,612円を差し引きして算出している。

単年度経常収支・実質収支：②実質収支から繰越金等を控除して算出した単年での収支。具体的には②の実質収支から歳入の③、④を引き、歳出の⑤及び⑥のうち保険給付費等償還金の過年度返還分（23,863,387円）を足して計算する。

令和 4 年度見附市国民健康保険事業特別会計決算の概要

○令和 4 年度決算における前年度比較等での特徴について

1. 収支

- ・ 55 番「単年度経常収支・単年度実質収支」は単年度での収支を見るもので 66,164,702 円。実質収支から、繰越金を引き、基金積立金、過年度返還金を足す。国保税収入が多かったこと、保健事業費等の支出が少なかったこと等により、見込みより多くなった。

2. 歳出

- ・ 31 番「保険給付費」は前年度比 3.9%の減。令和 3 年度は受診件数、医療費総額が、コロナ前の令和元年度並みとなっていた。令和 4 年度はやや減少したが、医療費総額、一人当たり医療費の高い状況が続いている。
- ・ 45 番「傷病手当金」は前年度の 1 件から増加して 9 件の申請。
- ・ 50 番「基金積立金」は令和 3 年度、基金に 5,000 万円と運用収益の 3,021 円を積み立てた。現在の基金残高は約 2 億円。

3. 歳入

- ・ 1 番「国保税」は被保険者数の減少により総額として前年度比 6.6%減の 577,343,233 円。
- ・ 18 番「災害臨時特例補助金」は新型コロナの影響により収入が減少した人の国保税減免分を国が負担するものが主なもの。令和 4 年度は対象なし。

令和4年度の国民健康保険事業 業務報告

1 国保税の収納関係

※収納額には、還付未済額を含みません。

R4年度	調定額 (A)	収納額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収納率 (B) / (A)
現年分	581,486,200円	563,126,250円	0円	18,359,950円	96.84%
滞納分	44,624,122円	14,072,883円	4,530,083円	26,021,156円	31.54%
計	626,110,322円	577,199,133円	4,530,083円	44,381,106円	92.19%

R3年度	調定額 (A)	収納額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収納率 (B) / (A)
現年分	619,342,200円	602,706,739円	0円	16,488,761円	97.31%
滞納分	46,768,763円	15,473,004円	3,105,598円	28,190,161円	33.08%
計	666,110,963円	618,179,743円	3,105,598円	44,678,922円	92.80%

比較 (R4-R3)	調定額 (A)	収納額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収納率 (B) / (A)
現年分	△ 37,856,000円	△ 39,580,489円	0円	1,871,189円	△ 0.47%
滞納分	△ 2,144,641円	△ 1,400,121円	1,424,485円	△ 2,169,005円	△ 1.54%
計	△ 40,000,641円	△ 40,980,610円	1,424,485円	△ 297,816円	△ 0.61%

2 被保険者及び医療費の状況

1) 被保険者の状況(年度平均)

区分	世帯数	被保険者数			介護保険2号 被保険者数
		一般	退職	計	
R4年度	4,721世帯	7,201人	0人	7,201人	2,007人
R3年度	4,781世帯	7,431人	0人	7,431人	2,044人
比較	△ 60世帯	△ 230人	0人	△ 230人	△ 37人

一般 : 退職に該当しない被保険者

退職 : 厚生年金や各種共済組合などの年金を受けられる被保険者で、加入期間が20年以上、もしくは40歳以降10年以上ある人とその扶養家族

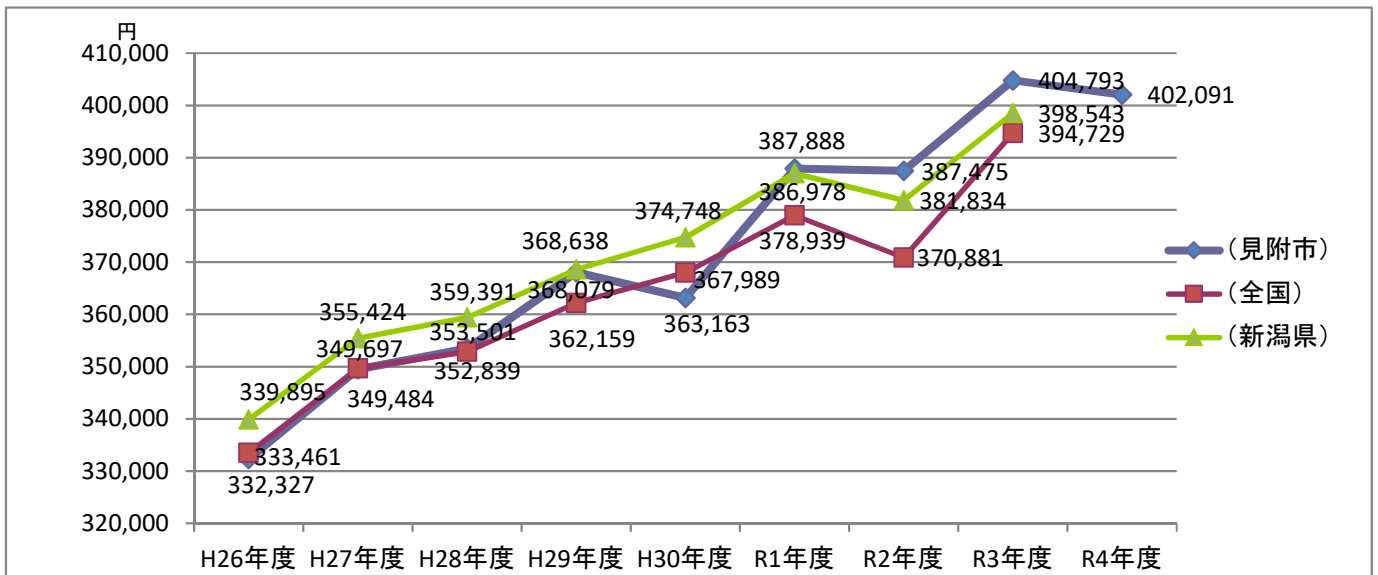
※ 退職者医療制度への新規加入は、平成27年3月末で終了。令和元年度末で退職被保険者は0人になった。

介護保険2号 : 40歳から64歳までの医療保険加入者

2) 医療費の状況(国保年報より)

区分	資格	件数	医療費	1件当り医療費	1人当り医療費
R4年度	一般	134,306件	2,895,456,361円	21,559円	402,091円
	退職	0件	△ 8,220円	-	0円
	計	134,306件	2,895,448,141円	21,559円	402,090円
R3年度	一般	138,486件	3,008,049,964円	21,721円	404,797円
	退職	0件	△ 29,940円	-	0円
	計	138,486件	3,008,020,024円	21,721円	404,793円
比較	一般	△ 4,180件	△ 112,593,603円	△ 162円	△ 2,707円
	退職	0件	21,720円	-	0円
	計	△ 4,180件	△ 112,571,883円	△ 162円	△ 2,704円

(1人当たり医療費の推移 一般+退職)



3 国保ドックの受診実績

区分	人間ドック	脳ドック
R4年度	197人	25人
R3年度	202人	31人
比較	△ 5人	△ 6人

4 特定健診・特定保健指導の受診率

区分	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	実施率
R4年度(速報値)	5,324人	2,825人	53.1%	-	-	-
R3年度	5,600人	2,742人	49.0%	325人	135人	41.5%
R2年度	5,850人	2,629人	44.9%	292人	121人	41.4%
R1年度	5,885人	3,060人	52.0%	354人	149人	42.1%
3-2比較	△ 250人	113人	4.0%	33人	14人	0.1%
2-1比較	△ 35人	△ 431人	△ 7.1%	△ 62人	△ 270人	△ 0.7%

※対象者数は各年度4月1日時点での国保加入者で、年度内資格異動等がない者

※ 特定健診受診率、特定保健指導実施率は翌年度12月に確定値がでます。

第3期 データヘルス計画の策定について

1. データヘルス計画とは

被保険者の健康の保持増進、医療費の適正化を目的として、レセプト(医療情報)、健診結果などのデータ分析に基づき、効果的かつ効率的に保健事業を実施するための事業計画です。

見附市では、計画期間を平成30年度から令和5年度とする第2期計画に基づき事業を実施してきましたが、今年度で計画期間が終了するため、目標の達成状況、事業の実施状況などの評価を行うとともに、新たに令和6年度から令和11年度までの6年間で期間とする第3期データヘルス計画を策定します。

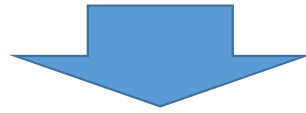
2. 計画策定スケジュール

おおまかな策定スケジュールは以下のとおりです。

- ・ 8月22日 運営協議会に現計画の評価・振返り状況報告
- ・ 9月末 次期計画の目標・事業等検討、素案策定（～12月末まで）
- ・ 10月 国保連合会支援・評価委員会で内容確認
- ・ 2月 運営協議会に計画案を提出
- ・ 2月 パブリックコメント実施
- ・ 3月 計画策定

3. 第2期データヘルス計画の体系

大目標	脳血管疾患、虚血性心疾患の発症及び糖尿病性腎症による新規透析導入者数の抑制により、重症化を予防する。
-----	--



中長期目標	## 脳血管疾患を発症する人の減少及び患者数の減少 ## 虚血性心疾患を発症する人の減少及び患者数の減少 ## 糖尿病性腎症を発症する人の減少及び患者数の減少 ## 人工透析患者の減少 ## 医療費の伸びの抑制
-------	---

短期目標	1) 高血圧を発症する人の減少及び患者数の減少 2) 脂質異常症を発症する人の減少及び患者数の減少 3) 糖尿病を発症する人の減少及び患者数の減少 4) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少 5) 特定健康診査有所見者の減少 6) 特定健康診査の受診率及び特定保健指導実施率の向上
------	--



保健事業	1) 特定健診未受診者勧奨事業 2) 糖尿病重症化予防事業 3) 脳血管疾患重症化予防事業（血圧） 4) 脳血管疾患重症化予防事業（心房細動） 5) 虚血性心疾患重症化予防事業（LDLコレステロール） 6) 虚血性心疾患重症化予防事業（メタボリックシンドローム） 7) ポピュレーションアプローチ
------	--

第2期データヘルス計画の評価（R5.7現在）

脳血管疾患、虚血性心疾患の発症及び糖尿病性腎症による新規透析導入者数の抑制により重症化を予防する。

1. 各種目標の達成状況・評価 ※詳細は別紙のとおり

①中長期目標

	評価5 (大きく上回る)	評価4 (上回る)	評価3 (おおむね達成)	評価2 (下回る)	評価1 (大きく下回る)
評価指標 項目数	0件	0件	6件	3件	0件
割合(%)	0%	0%	66.7%	33.3%	0%

【考察】

- ・評価3(おおむね達成)が6項目、66.7%。
- ・「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」は新規患者数、患者数ともに減少している。
- ・「糖尿病性腎症」患者数、「人工透析」新規患者数は横ばいで減少していない。
- ・医療費が高額なレセプトの件数、金額の増加や、脳血管疾患の入院医療費の増加などの要因から一人当たり医療費は増加しており、医療費の伸びの抑制には至っていない。

②短期目標

	評価5 (大きく上回る)	評価4 (上回る)	評価3 (おおむね達成)	評価2 (下回る)	評価1 (大きく下回る)
評価指標 項目数	0件	0件	8件	12件	0件
割合(%)	0%	0%	40.0%	60.0%	0%

【考察】

- ・評価3(おおむね達成)が8項目、40.0%。
- ・「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」の患者数は減少しているが、被保険者数に占める割合で見るとやや増加となる。
- ・メタボリックシンドローム該当者は減少傾向だが、予備群は逆に増加傾向となっている。
- ・特定健診受診率は令和2年度に新型コロナの影響もあり減少したがその後回復し令和4年度は平成28年度実績を上回る見込み。

③保健事業

	評価5 (大きく上回る)	評価4 (上回る)	評価3 (おおむね達成)	評価2 (下回る)	評価1 (大きく下回る)
評価指標 項目数	0件	0件	6件	14件	1件
割合(%)	0%	0%	28.6%	66.7%	4.7%

【考察】

- ・特定健診受診率は目標値には至っていないが改善傾向が見られる。
- ・特定保健指導実施率が向上できていない。

2. 総括

被保険者数の減少、70～74歳の被保険者の割合の増加が続いている。中・長期目標の「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」患者数などでは改善が見られた一方で、「糖尿病性腎症」患者数、「人工透析」新規患者数は増加していないものの、減少には至っていない状況。また、入院医療費(高額レセプト)の増加、「脳血管疾患」の入院医療費の増加も見られるなど、一人当たり医療費も改善していない。これらの課題の解決に向けて、引き続き各種保健事業の取組を強化していく必要がある。

第2期データヘルス計画の評価（R5.7 現在） 【保健事業】

保健事業名	事業目的	アウトカム評価指標	目標値	実績値		評価 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成	
				前年度(スタート時)	最新 (R4)		
特定健診未受診者 勧奨事業	健診の意義を理解し、 受診行動がとれる者が 増える	特定健診受診率	60%以上	H28 51.8%	53.1% (速報値)	全体、40歳代、50歳ともに令和2年度、新型コロナの影響等により減少したが、令和3年度、4年度で回復傾向が見られ、平成28年度との比較では増加した。	
		40歳代の特定健診受診率	45%以上	H28 24%	29.3% (速報値)		2
		50歳代の特定健診受診率	55%以上	H28 32.1%	34.8% (速報値)		2
糖尿病重症化予防 事業	糖尿病性腎症の発症お よび進展を予防すること ができる	HbA1c 7.0%以上で糖尿病 内服なしの者の医療機関受 診率	80%以上	R1 76.9%	35.9%	内服なしの者の受診率、内服ありの者の受診率ともに新 型コロナの影響等で令和2年度から減少。	
		HbA1c 7.0%以上で糖尿病 内服ありの者の医療機関受 診率（継続受診率）	100%	R1 100%	40.9%		2
脳血管疾患重症化 予防事業（血圧）	脳血管疾患を発症する 人が減少する	Ⅲ度高血圧の者の医療機関 受診率	増加	R1 71.4%	51.1%	Ⅲ度高血圧の医療機関受診率、次年度改善率については 減少した。 Ⅱ度高血圧患者の医療機関受診率、次年度改善率につい ては健診の場や事後指導により概ね達成できた。 脳卒中を発症した方が実際に高血圧であったのか実態を 分析し脳卒中発症予防のための評価項目を再検討する必 要がある。	
		Ⅲ度高血圧の者の次年度健 診での改善率	増加	R1 48.1%	44.8%		2
		Ⅱ度高血圧の者の医療機関 受診率	増加	R1 40.3%	45.7%		3
		Ⅱ度高血圧の者の次年度健 診での改善率	増加	R1 54.0%	53.3%		3
脳血管疾患重症化 予防事業（心房細 動）	脳血管疾患を発症する 人が減少する	医療機関受診率（年度末に 治療の有者/健診時点で治 療無の者）	100%	R1 0%	25.0%	対象者が毎年数十人程度であるため数値が大きく変動 何が脳卒中の原因となり発症しているのか実態分析を行 い評価指標を再検討する必要がある。	
		治療継続率（年度末に治療 有の者/健診時点で治療有 の者）	100%	R1 100%	100%		3
		未治療者のうち保健指導を 実施後の医療機関受診率 （健診時未治療で保健指導 後に医療機関受診した者/ 健診時未治療で保健指導を 実施した者）	100%	R1 0%	0%		1
虚血性心疾患重症 化予防事業（LDL コレステロール）	虚血性心疾患（急性心 筋梗塞、狭心症）を発 症する人が減少する	LDLコレステロール 180mg/dl以上の未治療者 の医療機関受診率	増加	H28 38.2%	30.8%	未治療者の医療機関受診率、次年度健診での改善者の割 合ともに平成28年度、令和元年度（スタート時）との比 較で減少した。 保健指導の実施率が低く、アウトカムに結びついていない。	
		次年度健診でLDLコレステ ロール改善者の割合	60%	R1 55.6%	51.7%		2
虚血性心疾患重症 化予防事業（メタ ボリックシンド ローム）	虚血性心疾患（急性心 筋梗塞、狭心症）を発 症する人が減少する	メタボリックシンドローム 該当者割合（男性）	減少	H28 30.5%	30.7% (速報値)	男性は横ばい。女性は減少した。	
		メタボリックシンドローム 該当者割合（女性）	減少	H28 12.2%	10.9% (速報値)		3
ポピュレーション アプローチ	介護や医療等の社会保 障費や健康課題等の実 態を踏まえ、健診受診 の重要性や生活習慣病 の重症化予防について 自分のこととして理解 し、健康づくりに取り 組む市民が増える	特定健康診査受診率	60%	H28 51.8%	53.1% (速報値)	健診受診率はコロナ禍以前に回復したが目標は未達成。 保健指導率は未達成だが維持をしている状況。「続けて 健診を受けた方が良いと思う者の割合」は大きく上昇、 「生活習慣を改善するつもりなしの者の割合」は減少し た。	
		特定保健指導実施率	60%	H28 45.3%	34.5% (速報値)		2
		特定健診問診「1回30分以 上の運動習慣なし」の者の 割合	減少	H28 60.4%	61.3%		2
		毎年続けて健診を受けたほ うがよいと思う者の割合 （健幸アンケート）	増加	H30 83.2%	86.5%		3
		「運動や食生活等の生活習 慣を改善するつもりなし」 の者の割合（標準的質問 票）	減少	H29 43.6%	39.6%		3

第2期データヘルス計画の評価（R5.7 現在） 【短期目標】

短期目標	アウトカム評価指標	目標値	実績値		評価 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成	
			ベースライン(スタート期)	最新(R4)		
高血圧を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数(患者千人あたり)	減少	H28 12.10人	12.27人	令和2年度まで毎年増加。令和3年度、4年度と減少傾向。	2
	患者数	減少	H28 2,109人	1,793人	患者数は減少傾向。患者数(割合)はやや増加。	3
脂質異常症を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数(患者千人あたり)	減少	H28 9.35人	9.77人	令和3年度まで毎年増加。令和4年度減少したが平成28年度と比較して増加。	2
	患者数	減少	H28 1,716人	1,483人	令和2年度まで毎年減少。令和3年度以降増加傾向。患者数(割合)はやや増加。	3
糖尿病を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数(患者千人あたり)	減少	H28 13.55人	17.33人	毎年増加傾向。	2
	患者数	減少	H28 1,082人	996人	患者数は減少しているが、患者数(割合)は増加傾向。	3
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドローム該当者の割合【合計】	減少	H28 20.6%	20.1%	合計では、該当者が減少傾向、予備群該当者が増加傾向。	3
	メタボリックシンドローム予備群該当者の割合【合計】	減少	H28 9.1%	10.1%		2
	メタボリックシンドローム該当者の割合【男】	減少	H28 30.5%	30.7%	男性では、該当者は横ばい。予備群該当者が増加傾向。	2
	メタボリックシンドローム予備群該当者の割合【男】	減少	H28 14.6%	15.9%		2
	メタボリックシンドローム該当者の割合【女】	減少	H28 12.2%	10.9%	女性では、該当者は減少。予備群該当者は増加傾向。	3
	メタボリックシンドローム予備群該当者の割合【女】	減少	H28 4.4%	5.1%		2
特定健康診査有所見者の減少	HbA1cが5.6以上の人の割合	減少	H28 75.5%	73.4%	HbA1cが5.6以上の人の割合は、令和元年度に増加して以降、高い状況ではあるが、平成28年度と比較して減少。	3
	HbA1cが6.5以上の人の割合	減少	H28 11.8%	9.8%		HbA1cが6.5以上の人の割合は、減少傾向。
	収縮期血圧が130mmHg以上の人の割合	減少	H28 46.9%	49.6%	令和2年度以降、増加傾向。	2
	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合	減少	H28 26.0%	27.7%		2
	LDLコレステロールが120mg/dl以上の人の割合	減少	H28 45.1%	46.2%	令和元年度以降、増加傾向。	2
	LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合	減少	H28 20.2%	21.2%		2
特定健康診査の受診率及び特定保健指導実施率の向上	特定健診受診率	向上	H28 51.8%	53.1% (速報値)	令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少したが、その後回復傾向。	3
	特定保健指導実施率	向上	H28 44.5%	34.5% (速報値)	令和元年度、2年度に減少。	2

【良かった点】

- 「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」ともに患者数は減少しているが、被保険者数に占める割合は増加している。
- 「メタボリックシンドローム」該当者の割合【合計】は減少傾向。
- 「特定健康診査有所見者の減少」のうち、「HbA1c」の項目は減少した。
- 「特定健診受診率」は向上した。

【悪かった点】

- 「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」ともに新規患者数が増加した。
- 「メタボリックシンドローム」予備群該当者の割合【合計】は増加傾向。
- 「特定健康診査有所見者の減少」のうち、「収縮期血圧」、「LDLコレステロール」の項目は増加した。
- 「特定保健指導実施率」は向上できていない。

第2期データヘルス計画の評価（R5.7 現在） 【中・長期的な目標】

中・長期的な目標	アウトカム評価指標	目標値	実績値		評価 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成	
			ベースライン (スタート時)	最新 (R4)		
脳血管疾患を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数（患者千人あたり）	減少	H28 3.95人	3.47人	令和3年度までは毎年減少。令和4年度は増加したが、平成28年度と比較して減少。	3
	患者数	減少	H28 425人	270人	令和2年度までは毎年減少。令和3年度に増加したが、令和4年度は減少。	3
虚血性心疾患を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数（患者千人あたり）	減少	H28 2.05人	1.76人	令和3年度まで減少傾向。令和4年度は増加したが、平成28年度と比較して減少。	3
	患者数	減少	H28 249人	178人	令和4年度まで毎年減少。	3
糖尿病性腎症を発症する人の減少及び患者数の減少	新規患者数（患者千人あたり）	減少	H28 0.48人	0.2人	令和元年度に大きく増加して以降、令和4年度まで減少傾向。	3
	患者数	減少	H28 38人	38人	患者数は横ばい。	2
人工透析患者の減少	新規患者数（患者千人あたり）	減少	H28 0.089人	0.08人	令和3年度までは毎年増加。令和4年度は減少し平成28年度と比較してやや減少。	3
医療費の伸びの抑制	1人あたり医療費	抑制	H28 353,501円	402,091円	1人あたり医療費は年々増加傾向。医療費伸び率（H28比較）でも令和元年度から県平均、全国平均を上回っている。	2
	1件あたり医療費	抑制	H28 20,309円	21,559円	1件あたり医療費は令和元年度から横ばい。	2

【良かった点】

- 「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」、「糖尿病性腎症」ともに新規患者数は減少した。
- 「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」は患者数も減少した。

【悪かった点】

- 「1人あたり医療費」、「1件あたり医療費」は抑制できていない。

【その他】

- △「糖尿病性腎症」の患者数、「人工透析患者」の新規患者数は横ばい。

国民健康保険事業財政調整基金残高の推移

(単位:円)

	基金保有高	年度中増減	
	年度末現在	基金取崩額	基金積立額
	①	②	③
H10年度	479,987,788	0	0
H11年度	479,987,788	0	0
H12年度	479,987,788	0	0
H13年度	479,987,788	0	0
H14年度	409,987,788	70,000,000	0
H15年度	384,987,788	25,000,000	0
H16年度	231,634,788	153,353,000	0
H17年度	108,634,788	123,000,000	0
H18年度	108,634,788	0	0
H19年度	108,904,159	0	269,371
H20年度	109,306,979	0	402,820
H21年度	109,444,473	0	137,494
H22年度	109,518,569	0	74,096
H23年度	59,599,263	50,000,000	80,694
H24年度	621,391	59,000,000	22,128
H25年度	641,693	0	20,302
H26年度	641,853	0	160
H27年度	642,012	0	159
H28年度	642,140	0	128
H29年度	642,203	0	63
H30年度	100,642,252	0	100,000,049
R元年度	150,644,416	0	50,002,164
R2年度	150,654,416	0	10,000
R3年度	200,657,437	0	50,003,021

次年度への繰越金額

(形式収支)	対前年比較
④	⑤
123,606,454	-
120,392,477	△ 3,213,977
107,762,808	△ 12,629,669
61,761,698	△ 46,001,110
43,604,528	△ 18,157,170
8,096,735	△ 35,507,793
7,742,605	△ 354,130
56,639,868	48,897,263
157,346,689	100,706,821
97,148,605	△ 60,198,084
99,704,960	2,556,355
97,491,978	△ 2,212,982
57,345,597	△ 40,146,381
12,106,554	△ 45,239,043
95,005,024	82,898,470
81,361,065	△ 13,643,959
38,084,456	△ 43,276,609
△ 251,679	△ 38,336,135
70,150,591	70,402,270
235,461,504	165,310,913
125,130,487	△ 110,331,017
81,472,561	△ 43,657,926
130,655,172	49,182,611
143,770,327	13,115,155